



飯高

ジャーナル NO. 23

Iiko Journal

平成 30 年 2 月 23 日 発行



長野県飯山高等学校

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山2610番地 【TEL】0269(62)4175 【FAX】0269(81)1072 【URL】http://www.naganor.ed.jp/iiyama/ 【E-mail】iiyama@naganor.ed.jp

スキー全国総体で男子優勝・女子3位 2/11(日) いいやま雪まつり会場までパレード&報告会

2/4(日)～8(木)に岐阜県高山市などで開かれていた第67回全国高等学校スキー大会で、男子が総合優勝(2連覇)を達成し、女子も1位と3点差の3位入賞をはたしました。

2/11(日)には、雪まつりで賑わう本町ぶらり広場から雪まつりメイン会場まで吹奏楽部の演奏を先導にパレード、メインステージで報告会を行い、足立飯山市長をはじめとする来賓の皆様から祝辞をいただきました。会場には保護者・スキー部OB・地域の方々が大勢集まり、生徒たちに拍手や声援を送っていました。

また、2/14(水)には全校生徒の前で校内報告会も開かれました。



男子10kmクラシカル・男廿リレーで優勝

「いいやま雪まつり」で飯高生輝く

2/10(土)・11(日)に開催された第36回いいやま雪まつりでは、飯高生が輝く姿が随所に見られました。

■雪像コンテストで美術部が最優秀賞…雪像コンテスト(メイン会場の部)では、美術部の「君の名は」が最優秀賞(トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩風の雪像)、生徒会の「今甦る飯山城」が優秀賞(第2位)に輝きました。



■創作和菓子、880個完売…探究科2年の竹田陽奈・金井海咲・宮沢紗李奈・山田歩実さんらは、課題研究で取り組んでいた飯山の食材を生かした創作和菓子を市内の喜楽堂さんの協力で完成。「ブナの雫-わかば」「もち雪」など4種は大人気で、またたくまに完売しました。



■ボランティアスタッフに約80名…野球部・生徒会有志ら81名が、案内や会場整美などのスタッフとして雪まつりを支えました。

2年探究科で課題研究発表会

2/19(月)、2年探究科の課題研究発表会が行われ、1年間各グループで取り組んできた研究成果を発表しました。4つの分科会に分かれてパワーポイントを使ったプレゼンを行い、審査員により推薦された4グループ及び3年スポ科の課題研究発表会(1/26



開催)で推薦された1グループが全体会で発表をおこないました。分科会でのプレゼンから参加していただいた6名の本校SSH運営指導員・協力者会議員の先生方から貴重なアドバイスをいただきました。また2年普通科では2/15(木)に課題研究発表会が行われ、各クラスから選ばれた2チームが発表をおこないました。

代表となった2年探究科の4チームは、3/4(日)に開催される「信州サイエンスミーティング」で研究成果を発表します。なお、全体会で発表された研究は以下の通りです。

- 2年探究科…『高校生の進路選択に関する研究』(仲ひかり・柁津里紗子), 『善光寺地震から考える飯山市の防災対策』(岩本拓巳・土屋瀬奈・豊田尚樹), 『リンゴの褐変に関する研究』(岩崎千洋・竹ノ内楓・宮崎真衣), 『ダンゴムシの走触性と負の走光性について』(栗岩佑人・小林太陽・佐藤聡太)
- 3年スポ科…『俺が打たなきゃ誰が打つ!!～ネクストの中でできるスイングスピードの研究』(小山竜生・関洗司朗)

全国高校スキー大会(10位以内を記載)

- 【アルペン】《男子》 ■回転…6位:猪股優 ■大回転…7位:猪股優
- 【クロス】《男子》 ■10kmクラシカル…1位:外谷涼太 ■10kmフリー…6位:外谷涼太 ■10km×4R…1位(松村恵吾・外谷涼太・小林皓生・高橋汰門) 《女子》 ■5kmクラシカル…3位:小林志織, 9位:芳川千恵 ■5kmフリー…7位:小林志織, 9位:今溝陽名子 ■5km×3R…1位(小林志織・今溝陽名子・祖父江凜)
- 【ジャンプ・コンバインド】《男子》 ■ジャンプ…5位:中村愛斗, 7位:宮崎諒 ■複合…2位:畔上祥吾, 9位:山本侑弥, 10位:中村愛斗 《女子》 ■ジャンプ(公開競技)…8位:畔上沙那

ハルティックスキージュニア世界選手権大会(スイス・ゴムス)

- 【クロス】《女子》 ■スプリントクラシカル…46位:祖父江凜 ■5kmフリー…37位:祖父江凜 ■スキーマスロン…26位:祖父江凜

1・2年生、戸狩でスキー教室

1/29(月)に2学年、1/30(火)に1学年の普通科・探究科のスキー教室が戸狩スキー場で開かれました。スキー班・スノボ班に分かれて、初心者から上級者までのクラス別でインストラクターの指導を受け、午後からは自由滑走を楽しみました。



タイ海外研修に9名参加

サイエンス・アソシエーション・プロジェクト(長野県主催)のタイ海外研修が実施され、本校から9名の生徒が参加しました。2/4(日)～2/9(金)の5泊6日の日程で、ラムカムヘン大学附属高校・カセサート大学・ラムルッカ精米工場・孤児院などの訪問、マングローブ自然保護区研修や農業の日本人指導者による講義など、密度の濃い研修を行いました。ラムカムヘン大学付属高校の訪問では「信州の自然」を英語で発表し、現地の高校生との交流を行いました。すべての授業が英語で行われていることに衝撃を受けたようです。9月以降、事前学習として「稲作について学ぶ」「植物基礎科学研究について学ぶ」「タイ米を使った食文化について学ぶ」などの様々な講義や研修を受けたうえでの参加で、とても充実した研修になりました。



▲ラムカムヘン大附属高校での交流



▲孤児院を訪問した際の集合写真